

コミュニケーションエラー6

このエラーはユーザーIDまたはパスワードが正しくない場合に発生します。指定したユーザーが AS/400 に登録されていない、または指定したパスワードが正しくないと思われます。指定したユーザーIDとパスワードが AS/400 に登録されているかどうかを確認してください。ユーザープロファイルを処理するために LANSA/AD のエミュレーターで WRKUSRPRF のコマンドを使用します。

コミュニケーションエラー17

このエラーは接続とユーザーのログオンが完了した後で、セッションの初期化時に問題が起きた場合に発生します。このエラーが発生した場合には以下を確認して下さい。

LANSA/ADのエミュレーターで WRKDIR のコマンドを実行して、ジョブ記述の項目を確認してください。WRKJOB のコマンドを実行してジョブ記述の定義を確認します。初期ライブラリリストの項目に次のライブラリが登録されている必要があります。:DC@PGMLIB (LANSA プログラムライブラリ)、QGPL、QTEMP

注意: リスナーを起動するときも上と同じような初期ライブラリリストを持つユーザーで起動する必要があります。リスナーの起動の詳細については『コミュニケーションエラー20』と『LANSA 通信エクステンションセットアップの手引』の『AS/400 の構成』の章を参照してください。

Visual LANSA を使用するために LANSA/AD に2つのライセンスが登録されている必要があります。ライセンスが有効になっているか確認して下さい。確認するには、次のコマンドを実行してください。

<プログラムライブラリ>/LANSA LICENSE

表示される画面の LCP と LXX のライセンスが有効になっていることを確認して下さい。

コミュニケーションエラー20

このエラーは物理的に AS/400 に接続できない場合に発生します。以下の項目を確認することをお勧めします。コマンドプロンプトを実行して下さい。Windows98 / NT の場合 Windows の『スタート』ボタンをクリックして『プログラム』の『MS-DOS プロンプト』または『コマンドプロンプト』を選択します。Windows2000 の場合『プログラム』の『アクセサリ』の『コマンドプロンプト』を選択します。"PING <サーバーの IP アドレス>"をコマンドプロンプトで実行してサーバーと接続できるか確認して下さい。(コマンドの例: PING 192.168.1.1.) コマンド行で PING だけ実行すると使い方に関する説明が表示されます。PING で正常に接続できない場合、ネットワークの構成およびサーバーの状況を確認して下さい。

PING で正常に接続できる場合、次に LANSA コミュニケーションエクステンションの設定を確認してください。詳細については『LANSA コミュニケーション管理機能の定義』の付録を参照してください。チェックするポイントはIPアドレスと接続IDです。ホストモニター起動時にエラーが発生してる場合、ホストモニターに表示されているホスト名と同じ名前でも LANSA コミュニケーション管理機能に構成があることを確認して下さい。

コミュニケーションの設定が正しい場合、LANSA/AD のリスナーが起動されているか確認して下さい。LANSA/AD のエミュレーターで WRKACTJOB を実行するとリスナーが起動されていれば TPnnnnnnnnn のようなジョブ名が存在します。リスナーの構成と起動の詳細については『LANSA 通信エクステンションセットアップの手引き』の『AS/400 の構成』の章を参照して下さい。